



鶏 鳴

〒221-0864

横浜市神奈川区菅田町2851

(電話 045-473-7191)

イエスの言葉

『なぜ、うろたえているのか』

聖書(ルカ福音書24章38節)

牧師 河合裕志

イエスが十字架につけられ死んで3日目の晩のこと、弟子達が戸を閉めて部屋の中にいると、戸を開けないでイエスがいきなり入って来て彼らの真ん中に立ち、『あなたがたに平和があるように』と言った。

彼らは喜んだか。死んでしまったイエスが生き返ってここに来てくれた、ということでヤッホーと飛び上らんばかりに歓喜の声を上げたか。

そうではまるでなかった。「彼らは恐れおののき、亡霊を見ているのだと思った」。これがホント。完全に息絶えた者が突然にフワと現れる。これはもう亡霊を見ているとしか思われぬ。彼らは恐れおののきぶるぶると震え顔も青ざめている。

この時イエスは叱った。『なぜ、うろたえているのか。どうして心に疑いを起こすのか』。なぜそんなにうろろうろしているのか。あわてふためいているのか。恐れおののいているのか。どうして疑う。わたしだよ。亡霊なんかじゃないよ。

続けてこう言う。『わたしの手や足を見なさい。まさしくわたしだ。触ってよくみなさい。亡霊には肉も骨もないが、あなたがたに見えるとおりに、わたしにはそれがある』。そしてイエスは両手を上げて釘跡を見せ、衣の裾を上げて両足を見せた。

彼らが喜びのあまりまだ信じられず不思議がっているのでイエスは『ここに何か食べ物があるか』と言う。そこで焼魚を一切れ差し出すとイエスはそれを取って彼らの前で食べて見せた。誠にイエスはサービス精神旺盛。そこまでよくやるよ。ここまでやられればさしもの彼らも信じたことだろう。この者は亡霊じゃない、れっきとしたイエスだと。

しかしやはり疑いは残る。正真正銘の肉体をもったイエスが何でドアを開けないで中に入ってこられるのか。これはパウロの言う「霊の体」「栄光の体」に逃げ込む他ない。イエスであることの実体は持っているけど同時に時空を越えた自由自在な存在、これがイエスの復活体。

イエスはこの姿で天にあり、また地にある私達のところには「聖霊」として出没する。霊だから肉眼には見えない。心眼でしか。

心の眼が開けばイエスがあなたの前に来ていることに気付く。そして『なぜ、うろたえているのか』と声をかけてくる。つい色んなことで恐れおののいてしまう私達に向って。どんな場合にもうろたえないで行けたらなあ。

集会案内

主日礼拝 : 毎日曜日午前10時15分

主日夕拝 : 毎日曜日午後6時

子どもの教会 : 毎日曜日午前9時

中高青年会 : 毎日曜日礼拝後

お話し会 : 毎水曜日午後1時~午後7時

お祈り会 : 毎水曜日午前6時、午前10時、午後7時